

## 欧州のスポーツ関連労働市場 —ケルン体育大学の挑戦

ウォルター・トカラスキー

ドイツ：ケルン体育大学 学長

クリストフ・フィッシャー

ドイツ：ケルン体育大学

### 要 約

教育の中でもとりわけ高等教育の世界は、長年にわたって欧州統合の流れから除外されてきた。欧州連合（EU）が主導する調和に向けた試みの中であって、この政策分野は、おおむね加盟各国の独自領域のままであり続けてきた。欧州域内市場が導入されたのを受けて、欧州の職業・学術教育に求められる要件は大きく変化した。この変化への対応の中でも特に顕著なものとして、いわゆるボローニャ・プロセス<sup>1</sup>が挙げられる。これは、EU加盟国だけでなく欧州<sup>46</sup>か国で有効とされるプロセスだ。そして、これにより高等教育機関には数多くの課題がもたらされた。本日の私のプレゼンテーションでは、欧州域内市場の発展と欧州のスポーツ労働市場の興り、そしてケルン体育大学でこのプロセスがどのように使われているかを考察していきたい。